



## SYNESIS バージョン 6.5 リリースノート

**2022-07-25**

**Version 6.0.6**

---

### リリースパッケージ

---

本バージョンのリリースパッケージは、下記の製品に適用可能です。

- バージョン 6.0.1～6.0.5 の SYNESIS
- 新規出荷品の SYNESIS

### 対応モデル

---

前バージョンと同じです。

### 修正した不具合

---

- 1) ユーザガイド 16.3.1 章の手順に従い PTP 時刻同期を設定する際、手順 7. の TimeSyncOsTimeReference パラメータが正しく設定されない不具合を修正しました。 [#22724]
  - 本不具合はバージョン 6.5.1 以降の SYNESIS で発生します。

**2022-04-11**

**Version 6.5.5**

---

### リリースパッケージ、対象モデル

---

前バージョンと同じです。

### 脆弱性対策

---

- [CVE-2022-22965] Spring Framework が提示するワークアラウンドの 1 つである "Disallowed Fields" を適用しました。
  - 参考 URL: <https://spring.io/blog/2022/03/31/spring-framework-rce-early-announcement#disallowed-fields>

### 修正した不具合

---

- インストーラの実行後に Management Console のパスワードが初期状態に戻る不具合を修正しました。 [#21815]
  - 本不具合は V6.5.2 および V6.5.4 のインストーラ実行時に発生します。
  - すでに上記バージョンのインストールを実行済で、パスワードが初期状態に戻ってしまった場合は、管理者マニュアル 5.2.2.1 章の手順に従いパスワードの再設定をお願いします。

- RESTful API 2.0 で、トレースファイルの URL を指定したダウンロードが、パーミッションエラーにより失敗する不具合を修正しました。 [#21630]
  - 本不具合は V6.5.1 以降で発生します。

---

## 2022-03-24                      Version 6.5.4

---

### リリースパッケージ、対象モデル

---

前バージョンと同じです。

### 修正した不具合

---

- OS のパスワードに "\$", "!" の文字列が含まれている場合に、設定のリストアが失敗する不具合を修正しました。 [#21573]
- パッチの適用時に、下記 5 種の Checker に設定済の Trap 送信先およびコミュニティ名を上書きしないよう、インストールスクリプトを修正しました。 [#21697]
  - HangUpChecker, PacketCapturingChecker, DropPacketChecker
  - FeedServiceRestartChecker, FeedServiceErrorChecker

---

## 2021-12-28                      Version 6.5.3

---

### リリースパッケージ、対象モデル

---

前バージョンと同じです。

### 修正した不具合

---

- バージョン 6.5.1 および 6.5.2 では、SYNESIS 本体のキーボードまたはマウスの最終操作から 5 分後に画面が暗転する設定となっていました。このとき CPU 使用率が上昇し、パケットドロップを引き起こす可能性がありました。本バージョンを適用することにより画面の暗転を無効化し、パケットドロップを防止します。
  - この事象は全てのモデルの SYNESIS で発生します。
  - 対象バージョンの SYNESIS であっても、本体のキーボードおよびマウスを使用せず、リモートで使用する限りは問題ありません。

---

## 2021-12-01                      Version 6.5.2 追加情報

---

新しいソフトウェアリリースはありませんが、Version6.5.2 およびそれ以前のバージョンの追加情報を記載します。

### リリースパッケージ、対象モデル

---

追加検証により、赤字で記載したモデルを Version6.5.2 の対象モデルに追加しました。

- 新規出荷品、Version 6.5.1 へのパッチ適用

Capture Module	Control Unit Portable	Control Unit Distributed	External Storage
SYxC-1G4N1-HP/LE, SYxC-10G2N1-HP/LE, SYxC-10G4N1-HP, <b>SYxC-25G4N1-HP,</b> SYxC-100G2N2-HP	SYxB-2GP3, SYxB-4GP2, SYxB-10GP3, SYxB-20GP2, SYxB-40GP2, SYxB-100GP2, <b>SYxB-50GP1,</b> <b>SYxB-100GP3,</b> <b>SYxB-100GP1-7300MAX</b>	SYxB-2GR1-C, SYxB-8GR1-C, SYxB-10GR2, SYxB-20GR2	SYxE-8GR1-C, SYxE-20GR2

### 本バージョンで追加された既知の不具合および制限事項

- Control Unit が SYxB-100GP1-7300MAX の SYNESIS では、パケットリプレイヤーにおいてキャプチャレコードのリプレイができません。実行すると NetKeeper プロセスが再起動します。
  - 本制限は V7.0.2 以降で対応予定です。
- パッチの適用等により、VPEyes または NetKeeper プロセスを再起動した際、低確率で NetKeeper が 2 重に起動することがあります。この状態でキャプチャを行うと、キャプチャしたパケットが正しく保存できない、あるいはキャプチャした統計値が正しくデータベースに記録できないといった現象が発生します。
  - 当社の再現実験における発生確率は 3,600 回中 1 回でした。
  - ソースコード上は SYNESIS の起動時にも同現象が発生する可能性が潜在的に存在していますが、今のところ発生への報告はありません。
  - SYNESIS のバージョンに関わらず発生する可能性があります。
  - 今後リリース予定の V6.0.14 パッチ、および次期メジャーバージョン V7.0.1 において恒久対処します。
- キャプチャレコードが概ね 20 個以上あるときに、GUI のエージェント画面への遷移時が遅くなります。また CPU 使用率が一時的に向上するため、パケットドロップを引き起こす可能性があります。
  - SYNESIS 6.0.1 から 6.5.2 までのバージョンで発生します。
  - 今後リリース予定の V6.0.14 パッチ、および次期メジャーバージョン V7.0.1 において恒久対処します。
- パケットリプレイヤーにおいて、ストリームとして「元のスピード」を指定し、かつリプレイデータに 1 秒以上のギャップがあるようなデータをリプレイすると、そのギャップが 1 ミリ秒に短縮されてリプレイされます。
  - 次期メジャーバージョン V7.0.1 において恒久対処します。
- 自動保存のオートローテーションを有効にし、設定を「サイズ」としてキャプチャを実行した場合に、保存済のトレースファイルが正しくないタイミングで削除されます。具体的には毎時 00 分を超えると、その前の 1 時間に保存したトレースファイルがフォルタごと削除されます。
  - V3.5 以降の SYNESIS で発生します。
  - 次期メジャーバージョン V7.0.1 において恒久対処します。
- 初期状態で NTP が有効になっています。そのため SYNESIS から x.ubuntu.pool.ntp.org 宛のパケットが送出されます。
  - ヒアリングシートにて NTP サーバを指定した場合は、そのサーバ宛のパケットのみ送出されるため問題ありません。
  - 11 月以前に製造した V6.5.1 および V6.5.2 で本設定になっています。

- 次期メジャーバージョン V7.0.1 において恒久対処します。

## 2021-11-04                      Version 6.5.2

---

### 新機能、変更点、および修正した不具合

---

- キャプチャモジュール SYxC-100G2N2-HP において、ブレイクアウトケーブルに対応しました。別売りのブレイクアウトケーブル (マルチモード) で、25/10Gx4 または 10Gx8 のプロファイルが使用可能です。
- SYNESIS のサインイン画面にヘルプボタン(文書一覧へのリンク)を配置しました。
- 文書一覧から SYNESIS の mib ファイルがダウンロード可能になりました。
- CLI 版 adapterProfile に init サブコマンドを追加しました。
- CLI 版 adapterProfile の config サブコマンドで指定できるパラメータを拡張しました。これにより、PPS, PTP を用いた時刻同期の手順が V6.5.1 からさらに変更されました。詳細はユーザガイド 16 章を確認ください。
- デコード画面においてチャンネルフィルタが使用不可という補足を表示していましたが、実際は使用可能だったため、この補足を削除しました。
- Version 6.5.1 の HangUpChecker にパスの誤りがあったため、修正しました。
- コントロールユニット SYxB-2GR1-C, SYxB-8GR1-C において、統計情報を格納するデータベースへのアクセスが遅くなることにより下記エラーが発生し、ある 1 秒間の統計情報が正常に格納できない不具合がまれに発生していました。この不具合を修正しました。

---

*[ERROR] MVPClient.cpp: 498 Postgres exception in save port summary, ERROR: duplicate key value violates unique constraint "poly\_intf\_port\_summary\_raw\_1633478400\_1633564800\_pkey" DETAIL: Key ("timestamp", intf\_id, port\_id)=(1633502066000000000, 0, 0) already exists.*

---

- 本不具合は V6.5.1 以前の全ての SYNESIS で発生の可能性があります。

## 2021-10-04                      Version 6.5.1

---

### 新機能、変更点、および修正した不具合

---

- OS を Ubuntu 20.04 に更新しました。
  - SYNESIS 管理ポートのネットワーク設定をファイルで設定する方法が、従来から変更になりました。詳細は「管理者マニュアル」の 4.1.4 章を確認ください。
  - Wireshark, Tshark のバージョンが 3.2.3 になりました。
- キャプチャモジュール SYxC-100G2N2-HP において、10G/1G のリンク速度に対応しました。
- CLI 版 adapterProfile のコマンド体系を変更しました。詳細は文書一覧の「アダプタモード切り替え手順書」にて確認ください。
- GUI 版, CLI 版の adapterProfile に、キャプチャアダプタのリセット機能を追加しました。
- adapterProfile の機能改善に伴い、PPS, PTP を用いた時刻同期の手順が変更になりました。詳細はユーザガイド 16 章を確認ください。

- SYNESIS 6.0.6 リリースノートで報告した下記不具合を修正しました。本バージョン以降では CLI 版の `adapterProfile` で切り替えを行っても、GUI にパフォーマンスモードの情報が反映されず。

- 
- ◇ CLI 版の `adapterProfile` でキャプチャアダプタを “Performance Replay” プロファイルに切り替えても、GUI 上でパフォーマンスモードが設定可能になりません。
  - ◇ 同様に、“Performance Replay” から “Capture & Non-Performance Replay” への切り替えを CLI で行った場合も同様に、GUI の状態が正しく切り替わりません。
- 

- プレビュー版の AA 機能を廃止しました。

#### 本バージョンで追加された既知の不具合、制限事項

---

- 【PacketReplayer】パケット間のデルタタイムが概ね 30 分以上あるようなトレースファイルを元のスピードでリプレイすると、リプレイの開始に失敗する場合があります。失敗時にはダイアログが表示され、リプレイおよびキャプチャのプロセスを再起動することで復旧します。